

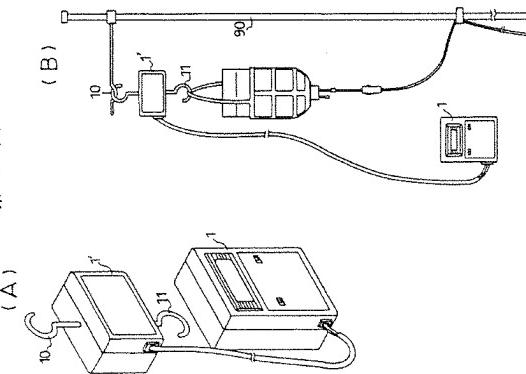
補正 平4.1.23
考案の名称を次のように補正する。
⑥考案の名称
実用新案登録請求の範囲、図面の簡単な説明を
次のように補正する。

⑦実用新案登録請求の範囲

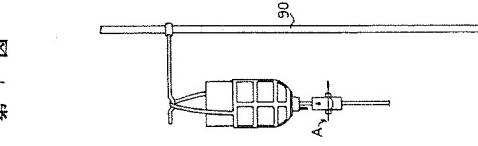
1 その上下端面中央位置に、点滴注射液瓶吊掛
用支承フレーム 9 0 に掛着する吊り鉤 1 0 及
び点滴注射液瓶を下げ保持する吊り鉤 1 1 をそ
れぞれ設けたハウジング 1 内に、調節可能な設
定重量値になると電気信号を発振する重量検知
装置と、この信号により作動される警報装置を
設けてなる点滴注射液残量警報器。

2 上記重量検知装置が、その中央部を上記注射
液瓶の吊り鉤 1 1 に固定し一端 2 0 を上記
ハウジング 1 内側壁に螺着され他端 2 1 をフリ
ーにして該吊り鉤 1 の吊掛け重量に對応して
ひずみ変形する片持ちはね板 2 と、該はね板 2
の変形量を感知するひずみセンサー 3 と、該ひ
ずみセンサー 3 に連線する前置増幅回路 4 0 及
び比較器回路 4 1 を備えた電気回路切換部 4 4
と、上記吊り鉤 1 1 に吊り掛けた点滴注射液瓶
重量について重量値設定を施し上記前置増幅回
路 4 0 と並列する設定回路 5 とからなり、
上記警報装置が、該比較器回路 4 1 に直列連
続する発声回路 6 または液晶顯示回路 7 或いは
両者を併設して形成され、
上記ひずみセンサー 3 からのひずみ変形信号
を上記前置増幅回路 4 0 が增幅して該比較器回
路 4 1 に送り込み、該比較器回路 4 1 が、その
受け取ったひずみ変形信号を上記設定回路 5 か
ら送り込んだ点滴注射液瓶重量の設定数値に比
較し、かつ、その設定数値の範囲内にあるひず
み変形信号を電気信号に変換して上記発声回路
6 または液晶顯示回路 7 或いは両者共に出力
し、警報を発させることによってなる請求項 1)
記載の点滴注射液残量警報器。

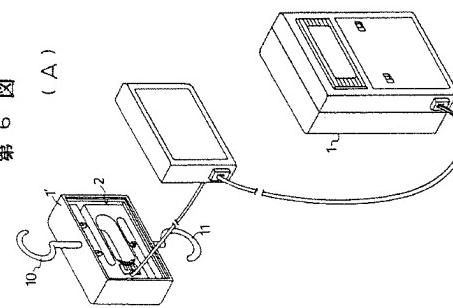
第 5 図



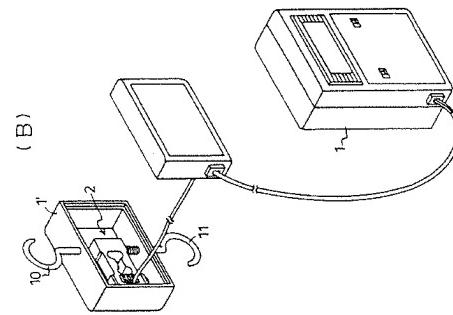
第 7 図



第 6 図



第 6 図



3 上記吊り鉤 1 0, 1 1 が、それぞれ上記ハウ
ジング 1 中心線上にある該ハウジング 1 の上下両
端面中央位置に設けられてなる請求項 1) 記載
の点滴注射液残量警報器。

4 上記ひずみセンサー 3 が、電気抵抗 3 2, 3
をそれぞれに直列連続した二つの互いに並列
する可変電圧 3 0, 3 1 からなる請求項 2) 記
載の点滴注射液残量警報器。

5 上記ばね板 2 と上下吊り鉤 1 0, 1 1 を一つ
のハウジング 1' に組合わせて装着し、その他の
装置をもう一つのハウジング 1 に組合わせて
収納し、かつ、両者の間に電線を接続してなる
請求項 2) ないし 4) の何れかに記載の点滴注
射液残量警報器。

図面の簡単な説明

第 1 図はこの考案の点滴注射液残量警報器の立
体分解図で、第 2 図はこの考案の点滴注射液残量
警報器の電気回路配線図で、第 3 図はこの考案の
点滴注射液残量警報器使用状態表示図で、第 4 図
A, B はこの考案の点滴注射液残量警報器における
電気回路変換装置設計表示図及び点滴チューブ
固着表示図で、第 5 図 A, B はこの考案における他
の実施例の表示図で、第 6 図 A, B はこの考案に
おけるばね板に関する他の実施例表示図で、第 7
図は従来の点滴注射液残量警報器の使用表示図で
ある。

1, 1'ハウジング、2ばね板、3 ...

...ひずみセンサー、4電気回路切換部、5 ...

...設定回路、6発声回路、7液晶顯示回

路、10ハウジング上端面の吊り鉤、11 ...

...ハウジング下端面の吊り鉤、2 0ハサミン
グ内壁に固定着されるばね板の一端、2 1ばね
板のフリーにされた一端、3 0, 3 1可変電
圧、3 2, 3 3電気抵抗、4 0前置増幅
回路、4 1比較器回路、9 0点滴注射液
瓶吊掛け用支承フレーム。